

トランスパーソナル学とサイモントン療法からみた
“スピリチュアリティ”と“エネルギーケア”

「スピリチュアリティ&エネルギーケアネットワーク（スピエネット）連続講座」のフォーラムⅢは、主に心理系の二つの団体—日本トランスパーソナル学会とサイモントンジャパンの視点から見た“スピリチュアリティ”と“エネルギーケア”について学びます。

また、お二人の講師のレクチャーの後には多面的に理解を深めるために、好評を博している講師を交えての「スピエネット対話<ダイアログ>」を今回も行います。ぜひ、ご参加下さい。

★13:30~14:30

日本トランスパーソナル学会・向後善之

日本トランスパーソナル学会は、「トランスパーソナル」すなわち「個を超えた」つながりや成長という概念に関心を持つ人達が集い、心理学にとどまらず、持続可能な社会のあり方、多様な価値観の中でお互いを尊重し合えるコミュニティなど、さまざまな話題について、だれもが自由に意見交換できる場です。そして、個人的な危機、社会的な危機は、個人や社会がより成長していくための生みの苦しみととらえています。



★14:40~15:40

NPO 法人サイモントンジャパン・川畑伸子

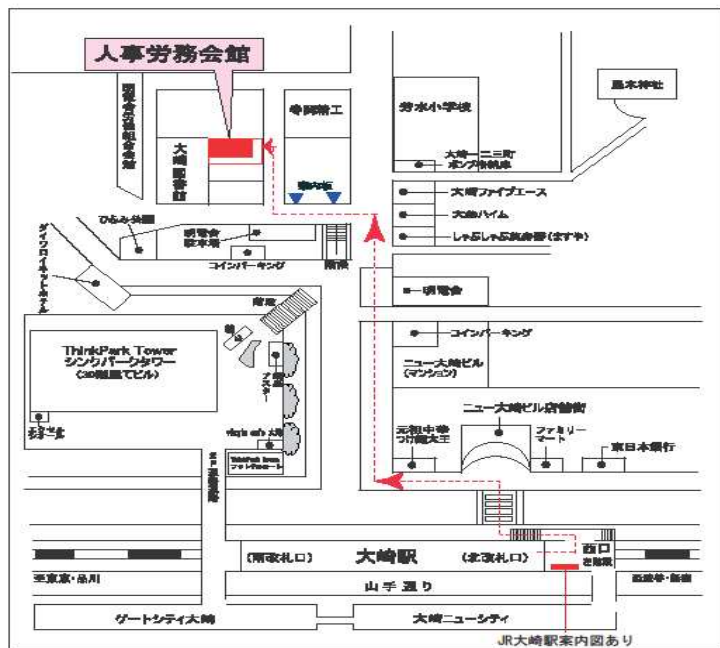
サイモントン療法は米国の放射線腫瘍医で心理社会腫瘍医のカール・サイモントンが開発した、がん患者とサポーターのための心理療法です。病気を敵としてではなく、メッセンジャーとしてとらえ、そのメッセージに耳を傾けながら「心・身体・魂」のバランスを取り戻すための包括的アプローチがされます。現在、米国、ヨーロッパ各国、日本において、がんのみならず、ストレスを起因とする様々な病に対して同療法が提供されています。



★15:50~16:45

スピエネット対話<ダイアログ>：向後善之×川畑伸子／進行・降矢英成

〒141-0032 東京都品川区大崎2-4-3
TEL:03-5434-2266
FAX:03-5434-2166



※交通のご案内
大崎駅 北改札口を出て左へ、西口側の左階段を降り、徒歩約8分
東山手駅・増原駅・湘南新宿ライン・りんかい線
(大崎駅へは、東大崎駅より約15分、羽田空港より約35分)

■日 時:2012年2月25日(土)13:30~16:45

■場 所:人事労務会館 中会議室(JR 山手線
大崎駅北改札口西出口より徒歩3分)

■参加費:会員 3,500円 一般 4,500円

*会員とは、主催、共催、協力の団体の会員(ヒーリングタッチ東京は、ヒーリングタッチ・スチューデントが会員扱い)を指します。

■申し込み手順

1. 必要事項(1氏名、2住所、3電話、4E-mail、5所属(①会員(団体名)・②一般)、6フォーラムⅢ~Ⅴの希望講座)を記入の上、ho-kanto@tgrim.or.jp までお送り下さい(締め切り2月17日(金))。

*Eメールが使用できない場合は、FAXでお申し込みください(FAX:03-5572-8219)。

2. 申し込み受理のお知らせが到着後1週間以内に参加費をお振込み下さい(申し込み後1週間以内に連絡がない場合はお問い合わせ下さい)。

三菱東京UFJ銀行 西新宿支店(普通)0057567

特定非営利活動法人日本ホリスティック医学協会

3. お振込み後、受付完了となります。お振込み後の参加費はご返却できませんので代理受講でご対応をお願い致します。

★“スピエネット”とは、下記の団体による「スピリチュアリティ&エネルギーケアネットワーク」の略称です。

<主催>NPO 法人日本ホリスティック医学協会関東フォーラム委員会 <共催>NPO 法人日本スピリチュアルケアワーカー協会、日本トランスパーソナル学会、ヒーリングタッチ東京、NPO 法人日本エドガー・ケイシーセンター
<協力>日本アントロポソフィー医学のための医師会、NPO 法人サイモントンジャパン、サトルエネルギー学会

＜スピエネット連続フォーラムの日時・内容＞

各回：主催・共済・協力団体の会員¥3,500、一般¥4,500

＜終了＞★フォーラムⅠ 2011年10月1日(土) 13:30～16:45

「エネルギー医学の原点 ～ アリス・ベイリーの秘教治療」 サトルエネルギー学会・神尾学

サトル・エネルギーの世界を語るとき、エーテル・アストラル・メンタル・コーザルといった言葉が今では一般的に使われていますが、それらの概念は神智学で使われていたものです。アリス・ベイリーの伝えた情報によって、それがさらに体系的・緻密に整備されましたが、その中で最近翻訳された『秘教治療』は、エネルギー医学の原典として、欧米で高く評価されておりますので、その概要をご紹介します。

○スピエネット対話＜ダイアログ＞：スピエネット実行委員

＜終了＞★フォーラムⅡ 2011年12月3日(土) 13:30～16:45

「スピリチュアルケアワーカーからみた“スピリチュアリティ”と“エネルギーケア”」 NPO 法人日本スピリチュアルケアワーカー協会・大下大圓

スピリチュアルケアワーカーとは「スピリチュアルな課題をもつ人に寄り添うことを目的として、さまざまな援助技術を通して、ケアの関係確立と自他ともにいのちの成長を目指す人をいう」という定義をして、協会を設立しました。特に、このたびの東日本大震災の被災地では、大きなスピリチュアルペインを味わっており、このような現実的な課題に対して、当協会およびスピリチュアルケアワーカーは積極的に活動しております。

○スピエネット対話＜ダイアログ＞：スピエネット実行委員

★フォーラムⅣ 2012年6月30日(土) 13:30～16:45

「ヒーリングタッチからみた“スピリチュアリティ”と“エネルギーケア”」 Healing Touch Hawaii・アン・L・デイ

ヒーリングタッチ(以下、HT)は、ホリスティック看護を実践したジャネット・メンゲンによって80年代後半に開発されました。HTは、心・身体・スピリットに働きかけるハート中心のハンズオンセラピーです。メンゲンのHTカリキュラム創設を手伝ったアン・L・デイが、HTの精神がどのように健康やスピリチュアリティを高めるかお話しいたします。

○スピエネット対話＜ダイアログ＞：スピエネット実行委員

★フォーラムⅤ 2012年8月25日(土) 13:30～16:45

「アントロポソフィー医学からみた“スピリチュアリティ”と“エネルギーケア”」 日本アントロポソフィー医学のための医師会・山本忍

アントロポソフィーの語源は、ギリシャ語のアントロポス(人間)とソフィア(知恵)に由来するもので、日本語では「人智学」と訳されます。アントロポソフィー医学は、ルドルフ・シュタイナー(1861～1925)によって始められた人智学を基盤として、イダ・ヴェークマン医師(1876～1943)の協力の下に創始されました。精神の内なる発展と魂の変容、そして健康と病気に関する認識と理解を深めることで、今日の医学研究を真にホリスティックな取り組みへと拡充し導くものです。

「ケイシー療法からみた“スピリチュアリティ”と“エネルギーケア”」 NPO 法人日本エドガー・ケイシーセンター・光田秀

エドガー・ケイシーは20世紀前半に米国で活躍したサイキックとして有名ですが、その驚異的な透視能力は病気の診断や人間の霊的本性の解明に向けられ、彼の残した医学情報は「ケイシー療法」と呼ばれるようになり、今日もさまざまな疾病の治療や研究に活用されています。今回の講座では、ケイシー療法の概要と、卓越した成果をあげているいくつかの分野(乾癬、神経疾患)についてご紹介いたします。

○スピエネット対話＜ダイアログ＞：山本忍×光田秀

★特別企画「スピリチュアリティ&エネルギーケアネットワーク in 富士」2012年4月14(土)～15(日)

～富士山のエネルギーを体感しながらスピリチュアリティについて学ぶ、1泊2日の特別企画です！

◎詳細は別紙チラシをご覧ください。